

大電協

新技術取得と工事情質向上を目指す

平成26年新春理事会を開催 22人が出席、新年の門出を祝う

大阪電気設備協同組合(山口重治理事長)は1月16日、大阪市天王寺区の家電会館で平成26年新春理事会を開き、理事総数29人のうち、理事22人が出席した。理事会では、今年度事業の運営状況を各部長が報告し、全議案を賛成多数で承認可決した。理事会のあと、別会場に用意された新年賀詞交歓会へと席を移し、大阪府議会議員の朝倉秀実氏も駆け付ける中、ともに新年の門出を盛大に祝った。

議案審議に先立ち、山口理事長が「電気工事業界は、引き続き厳しい環境が予想される」と気を引き締めつつも、アベノミクス効果で景気が回復ムードにあり、住宅着工件数が14か月連続でプラスとなるなど、明るい兆しも



山口重治理事長

見え始めていることを強調しながら、大要次のように挨拶した。昨年を振り返ると、1月22日に政府と日本銀行が、デフレ脱却に向けた2%のインフレ目標を明記した共同声明を発表し、3月5日には、読売巨人軍終身名誉監督の長島茂雄氏と巨人とアメリカ大陸リーグのヤンキースなどで活躍した、松井秀喜氏に国民栄誉賞が贈られることが決まった。6月22日には、富士山が世界文化遺産に登録され、8月9日に財務省が発表した国の借金、6月末時点で1008兆6281億円となり、初めて1000兆



理事会の様子

の影響を最小限にするため、5兆円規模の新たな経済対策の策定も発表した。

一方、新築住宅着工については、10月は9万2266戸で前年同月比7・1%のプラスとなり、14か月連続の増加となった。14年度は、消費税増税の影響もあり、大幅な減速を余儀なくされると予想するが、ただ、住宅投資は復興需要や各種の政策効果で均せば、緩やかな回復が続くと見ている。設備投資は、中長期的な期待成長率の低下もあり、緩やかな回復に止まるのではないかと、いずれにせよ、今

年も電気工事業界は厳しい環境が続く。大電協は、技術集団として新技術取得と工事情質

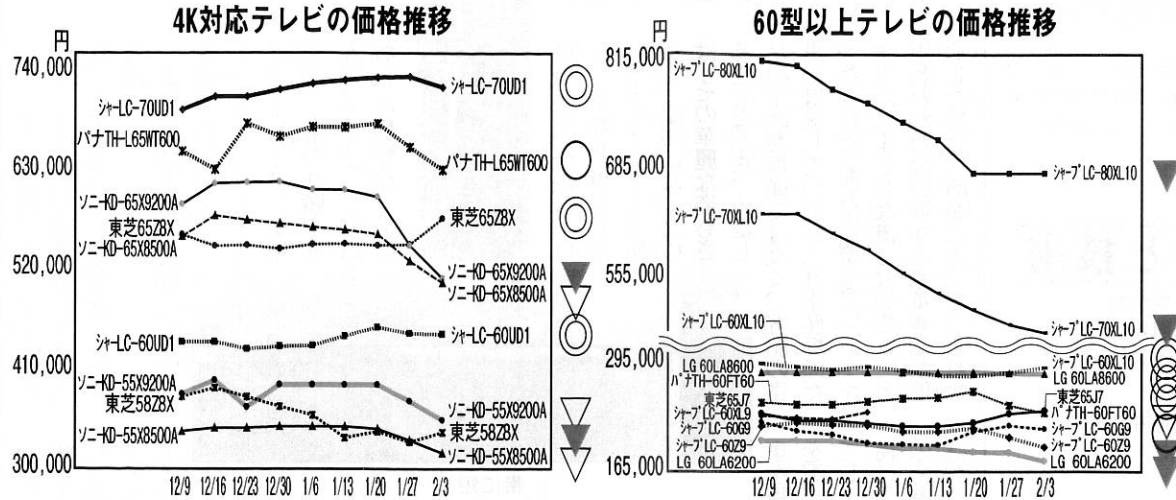
の向上により、需要家の皆様に安心安全をお届けするとともに、不良工事ゼロに努力して

いかなければならない。今年も役員一同、事業活動の一層の推進に取り組んでいきたい。

5 東芝以外が直近も値下がり

4K対応と60型以上のテレビ

～2月3日まで9週の売価推移/本紙調べ～



このコーナーの趣旨 電器店にとって仕入れと販売のタイミングは粗利確保の上で重要。市場の流れからそれを見極めよ!

- ◇先が読める 最近のネットショッピング価格を調査対象にしている...
◇粗利が確保できる グラフ上において、仕入れた機種が高どまりで安定していれば...
◇売るタイミングが分かる 仕入れた商品が、グラフ上で激しく変動していれば...
◇安く仕入れられる商品が探せる グラフ上で値崩れしている商品は、仕入れも下がっている可能性が高い。

※グラフのデータは本紙がインターネット上の売り出し平均価格を調べ、その推移を辿ったものである。本紙独自の集計に基づいて作成しており、店頭での実勢価格とは一致しないため、あくまで参考にとどめられるようお勧めする。実際の仕入れや販売は販売店自らの責任でおこなうことをお願いする。

Market analysis graphic with text: '選ぶならリストアップ! マーケットの生きものなまも!' and '仕入れと販売のタイミングを逃すな'. Includes a legend for market stability: 安定 (circle), やや安定 (open circle), リスクあり (inverted triangle), かなりリスクあり (filled triangle).

機種中、低下が12機種、現状維持が2機種(100円以内の変動は現状維持にカウント)、上昇が4機種となった。この中で、東芝は58Z8X、65Z8X、65J7の3機種を市場展開しているが、いずれも今回は値上がりした格好。また、上昇4機種のうち、残りの1機種はシャープLC60XL10で、同機は6700円の値上がりだった。テレビ市場も消費税前の駆け込み需要を期待して、量販店が安売り競争へ先走る傾向があるものの、メーカーが同調しない場合はこうした反騰が起る可能性もあるようだ。